

いちせニュース

2023年 夏号 Vol.17

令和5年5月議会・6月議会のトピックス

令和5年6月議会において、公明党を代表して追加となった
補正予算について、頂いた声をもとに質疑いたしました。

■ 子どもの成長応援臨時給付金【千葉県独自】

※習い事や体験活動などにかかる経費の負担を軽減し、将来を担う子どもたちが
豊かな成長につながる機会のため、小学校1年生から高校1年生までを対象に
ひとり一万円を給付



これに合わせて

■ 浦安市 子どもの成長応援臨時給付金【浦安市独自】

※県が実施する「子どもの成長応援臨時給付金」の対象とならない0歳から
未就学児までを対象に、市独自の給付金としてひとり一万円を給付

公明党 代表質疑で明らかとなった補足情報

県の給付金の方針が明らかとなり、活用可能な財源や他自治体での取り組みを調査
しながら、県の給付金を補完する支援を検討した結果、物価高騰の影響を受け育兒・
子育ての負担感が大きいと考えられる未就学児を育てる家庭を最優先として、支援
の対象とした

■ 自転車ヘルメット購入補助金



※4月1日の道路交通法改正に伴い、小中学生を対象に購入費の
上限二千元までを補助。自転車ヘルメットの着用促進と、幼児の
生命・身体を守るため、補助対象を未就学児まで拡充

公明党 代表質疑で明らかとなった補足情報

法改正で自転車ヘルメット着用は努力義務となり、3月議会でも小中学生を対象に自
転車ヘルメット購入補助金が措置された。しかし、幅広い世代へ着用の習慣化を促
していく必要があり、物価高騰に伴う子育て世帯への支援として補助対象を検討し
た結果、交通事故や転倒・転落などが懸念される未就学児にも拡充した

浦安市東野1-26-1-220
レクセルガーデン新浦安
電話 080-1156-5828
Mail: kichise4649@gmail.com
発行: いちせ健二 後援会

皆様からのご意見を
お聞かせ下さい！
【いちばん・真剣】に
取り組みます！



2023年 夏号 Vol.17

令和5年5月議会・6月議会のトピックス

【火災による被害が各所で発生、何とぞ火の用心を！】

■ クリーンセンター火災の対応と今後について

4月10日に千鳥町のクリーンセンター不燃ごみ・粗
大ごみ処理施設内で火災が発生。その後もごみの受け
入れを継続するため、敷地内へ一次仮置き場を急ぎよ
設営し、あわせて近隣市へごみ処理委託をするため、
追加の補正予算が組まれました。



近隣市との粘り強い調整の結果、市川市が協力して処理を実施してくれる運
びとなりました。被害対象範囲と修繕工事予算、また、長寿命化計画への影響
についても質疑したところ、発火要因は消防本部が究明中であり、7月中に要
因を特定し、9月上旬に予算とスケジュールを公表との考えが示されました。

【物価高騰が続く中、家計負担や事業者負担の軽減策を！】

■ 地方創生臨時交付金による負担軽減策が実施へ！

昨年より物価高騰が続いていることから家計への影
響を憂慮し、公明党は「物価高対策の追加策」の提言
を、3月15日に政府に対し申し入れました。これを
受け政府は、地方創生臨時交付金の積み増しを実施。
市はこれを財源に給食費を値上げせず、食材高騰分の
補助として市立保育園および私立保育所・幼稚園等な
らびに公立小中学校給食費への補助が実施され、ま
た、物価高騰の影響を受けている千葉県からの給付対
象とならない障がい福祉サービス事業所、介護サービ
ス事業所へ負担軽減策が実現の運びとなりました。



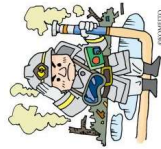
3月28日付けて緊急要望書を提出

【2023年3月28日提出 緊急要望書（抜粋）】

- ・子育て世帯へ物価高の負担軽減策を進め、子どもへの支援を拡充すること
- ・市内事業者へ原材料や輸送費など物価高による負担軽減策を実施すること

令和5年6月議会 一般質問（要旨）

■5月以降、連続している不審火について



5月に発生した連続不審火は、市として、防犯カメラ映像を警察へ提出して捜査協力を行い、消防車での巡回や防犯パトカーによる夜間パトロール強化などを行っています。他には市の管理施設の点検や、自治会および老人クラブに対して通知文を送り、火災予防の注意喚起を促しています。不審火の現場はいずれも人気のない駐輪場で突発的に実行されており、今後は、さらなる防犯意識の向上を図り、全ての敷地等の管理者に対して、改めて敷地内の定期点検を促していく必要があるとの考えが示されました。

公明党は、2040年の社会保障のあり方をめぐり、その基盤として「住まい」の政策を重視しています。政策手段としての現金給付・現物給付がある中、福祉施設などの現物給付による供給は足りておらず、特に離職者、高齢者、障がい者など、特定の方々へのニーズに対しては、まだまだ充分ではありません。

今回は、住み慣れた地域で自分らしく住み続けていける居住空間として、福祉施設の中でも「特別養護老人ホーム」と「障がい者グループホーム」の浦安市における今後の整備について質問しました。



EXOMIETO

■認知症になっても地域で自分らしく安心して暮らせる環境を！

市の介護保険制度が老後を支える中、今回は特別養護老人ホーム整備の方向性を質問。ちょうど令和6年から始まる第9期介護保険事業計画より後の特別養護老人ホーム整備は「団塊ジュニア世代」が高齢期を迎える2040年を見据え、中長期的な観点から施設数の確保を検討する必要があるとのこと。

今後の具体的な整備数や整備方法は、3年ごとに策定する介護保険事業計画の策定作業の中で、介護認定者数の推移や、直近の既存施設の稼働状況、他の介護サービスの利用意向、法改正などを踏まえて検討していく考えが示されました。



高洲の特別養護老人ホーム

■いくつになっても安心して暮らしていける生活環境を！

障がいのある方が入居可能なグループホーム整備について、計画の進捗および課題認識について質問しました。令和5年5月末現在、市内には11法人、20か所、定員135名分のグループホームが設置され、現時点では市の障がい者福祉計画で見込んだ令和5年度における必要数を満たしている状況とのこと。

その一方で、障がい特性や程度、家賃等の面で、受入側のグループホームと入居希望者との間で条件が合わないケースも多く、空きがあるにも関わらず待機者が減らないことが課題でした。

市では、重度の障がいのある方の受入れが少ない状況をかんがみ、今年度から整備補助制度を見直し、障害支援区分4以上の重度障がいのある方向けのグループホームのみを補助対象とし、また、市内での物件確保の困難さを考慮して、今年度から市外へのグループホーム設置も補助対象に追加。今後も、重度の障がいのある方が、その方らしく生活できるよう、障がい特性に応じた住まいの場の環境整備を図るとの方向性が示されました。

青少年の居場所としてますます重要な役割を持つ青少年館。令和3年度から福祉的な事業もスタートし、今後どのような方向性で事業を実施していくのか、方向性について質問しました。



■多様化する支援ニーズにあわせ、青少年の居場所充実を！

近年の子どもたちを取り巻く社会環境の変化に合わせ、子どもたちへの支援ニーズも多様化しており、青少年館では、青少年の居場所づくりを重点に置き「遊び」や「学び」を中心とした事業を実施してきました。

一方で、多様化する青少年のニーズに対応するため、いちよう学級の児童・生徒を対象とした事業や、高校生が気軽に立ち寄り専門スタッフに相談できる「放課後ふらっとルームOKAERI（おかえり）事業」などの新たな取り組みも開始しました。

今後、多様化する支援ニーズに柔軟に対応できるように、指定管理者のうらやす財団と協議しながら、青少年館を活用した事業を検討・実施していく方向性が示されました。



浦安市青少年館